



早いもので2月に入りました。1か月があつという間ですね。進級、卒園まであと2か月となりました。一年を振り返りながら子どもたちの成長を感じています。体とともに心も成長した子どもたち、最近では、友だち同士のかかわりも増え、好きな遊びを通して一緒に遊ぶことの楽しさを存分に味わっている子どもたちです。

今月15日は英語の発表会や茶話会を開催する予定です。みなさんで子どもの成長を喜び合えたらいいなと思います。「こんなことで困っているよ」というような話もお聞かせください。今月も意外に暖かい日々が続くのでしょうか？外や園庭でいっぱい遊びたいと思います。

《節分》

2月3日は節分です。節分に向けて「お面作り」を楽しんだ子どもたち。本物の鬼さんに見えるように工夫して作っていました。そのお面をかぶって園では節分の豆まき行事をしました。「鬼は外！福は内！」「鬼がやってきた」と必死に豆をぶつけようと投げ、鬼に立ち向かう子どもたち。固まって動けない子、泣いてしまう子どももいました。豆を投げ終え鬼は退散。悪い鬼を退治して、ニコリ。きいちご倶楽部と暖らんの職員の優しい鬼だとわかるとさらにホッとひと安心の子どもたち。楽しい豆まき会でした。

さて、おうちでは夕食に恵方巻を食べるのかな？今年の恵方は「西南西」の方角だそうです。恵方とは歳徳神(としとくじん)という神様のいる場所を指します。歳徳神はその年の福德(金運や幸せ)を司る神様でその方向を向いて恵方巻を食べると願い事が叶うそうです。食べ方にはルールがあり食べる時には黙って一気に食べてしまうというこらしいです。みなさんにたくさんの福が訪れますように。

ひすいこたろう著「超名言100」より

以前4人の間でランチをしたとき。東京のサクラバさんが頼んだのは「カレーライス+ソバ」のセット。それを見た大阪のタカギさんと出雲のタカさんは驚愕の表情を見せた。「それはないだろう！」と。

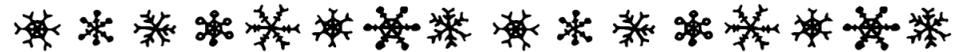
東京組にはなんの違和感もない。しかし大阪&出雲組からしたら「カレーライス+ソバ」は非常識にもほどがある組み合わせだったから。「ひすいさんも、僕の前ではカレーライスとソバのセットは絶対に食べないでください」と荒立つほどに。カレーは一品でパーフェクトに完結している食べ物なのに、ソバをつけるとは冒涇であると。

しかし、今度は大阪&出雲組の注文が届いたとき、関東組は驚いた。大阪のタカギさんが頼んだのは「ヤキソバ+ご飯+味噌汁」。出雲のタカさんが頼んだのは「ラーメン+カツどん」。まずは大阪よ、ヤキソバ+ご飯？ありえないだろ！これに対して大阪のタカギさんは冷静に応戦。「ヤキソバにご飯の組み合わせは、あります！」と。ありなにかい！「ヤキソバは一品で完成しているものの、少し物足りないので、プラスにご飯はむしろ常識！」とまで。まあいい。大阪は見逃してやろう。

問題は出雲だ。「ラーメン+カツどん」って、どんだけカロリー高くすれば気が済むんだ。「え？これ、出雲ではスタンダードですよ」というわけで。

みんなちがって、みんないい。みんな正しい。そう思えたら世界はあつという間に平和になるね。

みんなちがって、みんないい(金子みすゞ 詩人) 田中も賛同です！



インフルエンザが流行する時期です。大人も子どもも重症化すると大変です。流行期には手洗いうがいはもちろん、人混みを避け、少しでもいつもと違うと感じたら早期対応を。十分な睡眠と栄養を取りましょう。